

# 令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：27081

学校名：市立札幌山の手支援学校小学部

## 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果

## 分析

体力・運動能力  
<男子>

体力・運動能力  
<女子>

運動・スポー  
ツへの意識、  
運動習慣

本校においては、児童の病状・障がいの状態等を考慮し、全国体力・運動能力調査、運動習慣調査には参加していません。

### 三つの取組

#### ①体育・保健体育等の 授業の充実

#### ②授業以外で子どもの 運動機会を創出する取組

#### ③子どもが自らの 健康づくりを図る取組の充実

### 具体的な 取組

- 主治医と連携し、生活管理指導表を基に授業内容を工夫する。
- 健康状態に配慮し、個人の病状や障がいに応じた運動に取り組む。
- パラスポーツに触れ、他者との共生や生涯にわたって運動やスポーツに楽しむ態度の育成を図る。
- 運動への知識を広げ、運動の質の向上につなげるために ICT を活用する。

- 教師も休み時間の遊びや運動に参加し、児童同士の交流の仲介をする。
- 自宅でも取り組める運動(なわとびや散歩、エクササイズ等)を推進する。
- 校外における学習では、公園等の地域資源を活用し、運動に取り組む機会を設ける。
- 楽しみや目標をもって取り組めるように、なわとび週間を設定する。

- 自立活動の内容を関連付け、自分の体や病気の状態を知り、将来的に自分自身で健康管理ができるように取り組む。
- けがの防止や病気の予防、安全について学ぶ。
- 栄養教諭を中心とした食指導の実施や個別的な相談指導の充実を図る。
- 保護者、医療、福祉と連携を取り、児童の健康づくりについて情報を共有する。

### 家庭・地域との 連携・協働

- ・健康教育に関する出前講座の活用と人材発掘に努め、児童の健康づくりへと繋げる。
- ・地域学習等を活用し、学校以外の児童と関わりながら、遊びや運動をすることを促す。
- ・家庭と連携し、無理のない範囲での運動習慣の形成や冬期間の雪かきボランティア等への参加を促す。